

回答校数/加盟校数:回答率

東海地区	(36校 / 51校 : 71%)
京都地区	(24校 / 42校 : 57%)
阪神地区	(35校 / 69校 : 51%)
中国・四国地区	(37校 / 43校 : 86%)
九州地区	(37校 / 53校 : 70%)
総計	(169校 / 258校 : 66%)

1. 2010年度「館長懇話会」(2010年6月18日開催)への参加状況

	東海地区	京都地区	阪神地区	中国・四国地区	九州地区	総計
①参加	3	4	6	4	9	26校
②不参加	33	20	29	33	28	143校

2. 懇話会の時間について(2010年度は50分程度)

	東海地区	京都地区	阪神地区	中国・四国地区	九州地区	総計
①ちょうど良い	0	2	2	3	4	11校
②短い	3	2	3	0	5	13校
③長い	0	0	0	0	0	0校
④その他	0	0	1	1	0	2校

*移動に時間がかかりすぎたかもしれない。
 *少し短い。60分程度意見交換できる時間があるほうがよい。
 *参加者40名とテーマの広がりを見ると、やや短かったのではないかな。

3. 館長懇話会の形式・内容・運営について

- *現在方式でも良いと思う。
- *議論すべきテーマをもう少し絞っていただいた方がよい。
- *議論するには人数が多すぎる。
- *予めテーマを決めて話し合うのも良いが、今回のようにざつぱらんな質疑応答も良かったと思う。
 懇話会が予定の50分よりかなり短くなったのは残念だった。
 懇話会は昼食時間を含むので、正味50-60分懇話できるように余裕を持たせた方がよいように思う。
- *30名を超える館長が会し、限られた時間の中での情報交換の場である。
 従って、テーマを大括りにし、活発な懇話を促すために記録は要約(テープ起こしをしない)に留めるなど。
 自由な意見交換ができるような雰囲気作りを心がけた。
- *各図書館の事情が異なっているので、食事中にどなたかがテーマについてプレゼンテーションをして、それについて議論や
 情報交換を行うという方法が良いと思う。大きなテーマで自由に発言すると、内容が拡散して話がまとまらなくなるように思った。
- *いくつかのテーマを設定し、意見交換をする。その後できれば、カクテルパーティ風の意見交換会があればよい。
- *図書館が抱える課題を幾つかに大別して、そのうちの1つか2つのテーマについて議論を深めた方が稔り豊かになるように思えた。
- *参加者が多数いたこともあり、他地区の活動や方式が理解できて良かったと思う。
- *各大学図書館が抱える問題について、自由な意見交換がなされたのは良かったが、反面、ややまとまりが悪い印象を受けた。
- *もう少し時間を取っていただけると、各大学での対応などが聞けて参考になる。話し合うテーマを4~5個に絞り、あとは当日提案の
 テーマにしてはいかがでしょうか。
- *適切です。
- *今回 館長の代理で初めて出席させていただきましたが、意見交換はあまり熱心でないように見えた。もう少しいろいろな意見が出
 てもよいのではと思う。また、全体的に時間が少なかったことも一つの要因。
- *今回の懇話会では、事前に発言をお願いすることもなく、自由に意見交換ができた。懇談する内容によっては、問題点を明確に
 するために何人かの館長にお願いしておくか、あるいは座長がいくつかの具体的な問題点を各館長に提示しておくのも一案である。
- *大きな規模と小さな規模と分けて行ってはどうか。
- *現在のやり方でよいと思う。
- *今回初めて参加させていただいた。生の声が聞けて参考になった。
- *大変に難しい問題だが、テーマ(内容)を思い切って絞り込んでみるという試みは無謀でしょうか?時間的に難しいでしょうか?
- *その場で、多くの他大学の事例や意見を聞くことができ、とても有益であった。
- *自由な意見が述べられてよかった。高校の教科書を図書館に置くかどうか意見が聞けたので参考になった。
- *大変よかった。
- *各大学の実情・問題点などを知る良い機会であった。進行がスムーズであった。
- *現状の昼食をしながらではなく、終わってからゆっくりとを希望する。懇話会に参加すると図書館見学ができなくなるので、改善される
 ことを期待する。(午前中の会議を簡潔にするか、早く始めるか、午後の開始時刻を遅くするなどにより)
- *他大学の図書館状況の意見が聞けて参考になった。形式・運営については問題ないと思う。削減されていく予算の中での、リポジ
 トリなどの情報推進化が今後の課題になるであろう。
- *正式の会議ではなかなか聞けないような各大学の情報を入手できた。
- *あらかじめ、メールで資料を送ってくださって、実りのある会にする努力をなさっていたことに敬意を表したい。また、食事をしながらの
 会は、慌しいがなごやかな意見交換ができる。しかし、時間が短すぎる。

4. 今後の参加について

	東海地区	京都地区	阪神地区	中国・四国地区	九州地区	総計
①参加する	2	2	4	2	5	15校
②都合がつけば参加する	26	15	19	26	19	105校
③参加しない	2	2	1	2	4	11校
④どちらとも言えない	6	5	11	7	9	38校

5. 内容について(どのような話題を懇談されたいですか)

- * 日頃各館で困っている点、今後の環境変化と対応策
- * 成功事例(先進的取組み事例:失敗も可)
- * 電子書籍への対応、ラーニング・コモンズ導入の是非と問題点
- * デジタル資料の有効活用について
- * 館長としての責務遂行上の様々な問題と解決方法について
- * 図書館運営に関する情報共有
- * 資料の電子化にどう対応するか
- * 図書館業務の外部委託化問題
- * 各大学とも状況が異なるので、本年度同様大きなテーマになるのではないかと
- * 地域の公共図書館との連携
- * 今後の私大図書館のあり方のうち1.当該大学学生および他大学学生の図書文献の入手手続きの簡素化(システム・経費など)について
2.各地域の公共図書館とのネットワーク構築事例の紹介
- * 電子書籍の取扱について
- * 専門雑誌の共同利用など(web上)
- * 各図書館での問題点
- * 図書館として好ましい電子書籍の導入や利用の仕方
- * 図書館の現状と課題について
- * 学生の学習支援における図書館の役割について
- * 大学の一機関としての図書館の取組事例など(図書館と授業の連携、初年次教育における図書館の役割、支援等)の情報について
- * 図書館の電子化と冊子化の保存について
- * 図書館の委託化について
- * 大学図書館が直面する大きな課題について(大学における大学図書館の位置づけ等)
- * 私立大学図書館の将来展望について、電子化時代における私立大学図書館の共通目標の設定
- * 各私立大学の機関リポジトリの取組みについて
- * 図書館運営のめざす方向
- * 総合図書館としての取組みの現状について
- * 図書館における企画展示
- * 大学により取組み内容が異なるものの、基本的に図書館運営は共通である。特定のテーマを設定すると、そのトピックに取り組み中で大いに発言できる大学とそれ以外に分かれる。むしろ広く浅くどの大学からも発言できるよう自由な場(一問一答)であって良いと思う。
- * これからの「図書館の持つ空間」の可能性について
- * インターネット時代における図書館のあり方
- * 電子書籍時代における図書館のあり方
- * 国内外の図書館運営における新しい活動について。特にラーニングコモンズの取組みについて情報を求める
- * 昼食時間を利用しての懇話会なので、各大学館の情報交換で良いと思われる
- * 学習の場としての図書館運営について
- * 授業運営への図書館としての参画(授業科目に対応した選書方法)
- * 館内展示、地域交流事業などの実情
- * 大学図書館を教育機関として、どのように位置づけるか
- * 図書館の現状と展望について等、今後の運営に役立てたい
- * 大学図書館がおかれている環境と課題、他大学の教育に関する取組み等
- * 個人、団体からの寄贈資料について、どのように対処、受入されているのか
- * 今回と同様に、各大学図書館の問題点をトピック的に取り上げていただけると良いと思う。今年は講演者(午後の)の時間的制約のため、短くなったが、できるだけ懇談時間を長く取ってほしい
- * 大学全体の予算が厳しくなる中での、図書館資料コレクションの構築
- * 紙媒体と電子媒体の購入と提供方法、特に電子媒体をどのように提供していくか
- * 組織としての図書館のあり方と将来像
- * 利用促進、新しい図書館機能
- * 各大学の特色ある取組み等
- * 電子化など急速に変化する図書館の環境の中で、私立大学図書館がそれぞれどのような取組みを考えておられるのか
- * 図書館利用者が求めているものを、どのようにして把握すればよいか
- * 学習支援のための図書館としての役割、方策
- * 図書資料の電子化への対応
- * 各館のもつ諸問題について情報を提供してほしい。
- * 利用促進の工夫、特色の創出など
- * 図書館の電子化、学生の活字離れ、図書館予算削減への対応
- * これからの図書館のあるべき姿、何をやらなければならないのか
- * 学生の図書館利用を促進するための方策
- * 増加する資料(図書を含む)への対応
- * 図書館長(教官)だけで検討することが正しいのか。事務職員も加えて両方で議論すべきと思う。いま課題になっていること(国・公・私での連携や職員研修等)を中心に話題を提供してほしいし、その中から検討内容がでてくるのではないかと考える。
- * 学生の「学習支援」という場合、図書館では具体的に何を目標にできるか、その目標の達成に向けてどのような支援条件・環境を用意できるか
- * 最近問題となっていること
- * 先進校の事例
- * 私立大学を取り巻く諸問題について
- * いろいろな労働条件で働いている職員がいるが、それについて館長はどのように対処しているのか、また今後どのように対処していくのか
- * 電子書籍の拡大が予想される中で、活字を読む必要性、メリットをどのように訴えるか
- * 最近の図書の試み、今後計画されている内容などを情報交換したい
- * 今のままで良い
- * 学生の図書館利用促進策について
- * 大学図書館の運営における問題点および将来像や方向性など、中長期的な視野にたった大学図書館運営について
- * 毎年値上がりする電子ジャーナルおよびデータベースの各大学の対応策について
- * 図書館でのマナー
- * 図書館の外部委託に関する問題(大学図書館にとって命取りにならないか)
- * 機関リポジトリについて(私立大学の取組みが遅れているのではないかと)
- * 各図書館から最大の課題の事前提出を求め、その最大公約数的テーマについて議論する
- * 最新の図書館情報について
- * 開設間もないのでどんなテーマであれ学びとなる。ごく初歩的なことでいえば、図書館長としては、どの程度の権限と、責務が与えられているのか

- *現在の課題(現状対策)、将来の課題など
- *少子化と勉強をしない層が増す傾向を指摘される昨今であるが、読書離れが一層懸念される中で、これからの大学図書館に求められる役割(機能)としての「急務」と「あり方」について他大学の取り組み(工夫点)や考え方を伺いたい
- *時代に応じた図書館のあり方
- *大学図書館の経営・運営に関する事柄、今後の大学図書館サービスに求められる方向性と具体的方策
- *電子書籍の扱い等
- *大学図書館としての蔵書・選書のあり方
- *大学図書予算の削減に対応した電子ジャーナルを含めた雑誌の購読について
- *ラーニングコモンズとしての図書館
- *電子書籍の充実について。他大学とのネットワーク提携方法について。図書閲覧のネットワークが可能になればそれぞれの大学ですべて電子書籍を揃える必要もなくなるし、図書館の建物自体も大規模にしなくても良くなる可能性がある。
- *収蔵スペースの確保と蔵書の電子化とのバランスの問題
- *学生にとっても魅力ある図書館にするために、どのような努力が必要か
- *初年時教育に図書館をどう利用するか
- *書籍電子化が教育内容・方法に与える影響
- *資料取扱マナー向上の方法
- *大学図書館の今後のあり方
- *地域開放をどの程度進められているのか
- *従来どおり図書館の現状・課題・期待などでよい
- *図書館長も任期制で、交代があるので今後も大学図書館のあり方や運営について折々懇談してほしい。
- *全入時代の大学図書館の在り方について
- *私立大学としては、学生に対する日常的なサービスの細部が情報交換できれば参考になる
- *学外者の利用について
- *電子ジャーナル契約への大学図書館の今後の取り組みについて
- *今年度のような話題で良い
- *学生の図書館利用の促進。利用指導のあり方。発達障害学生への対応。電子図書時代の大学図書館のあり方。
- *人事管理、法的変化(デジタル化に伴う)、開館時間
- *学生の図書館利用活性化のための実践例

6. その他(形式・運営等、ご自由にご記入ください)

- *各問題点について、解決策、成功例(先進事例)を教えて戴きたい。
- *自館に役立つ内容であれば出席も検討したい。
- *時間の都合もあり、発言できる機会のない人が圧倒的に多いように思う。グループ分けなどをして、全員に発言できる機会を与えてほしい。
- *図書館長またはそれに準じる立場の者のみの参加とする。
- *時間が不足している。
- *協議会開催等、ホスト役になられる大学の負担が少なく出来る方法を希望する。
- *遠方開催だと2日を要する。なるべく(夏季)休暇中の開催を希望する。
- *講演は、図書館に関わる内容がふさわしいのではないかな。
- *懇談テーマについて、事前にアンケート調査などして、広く意見交換を行う。
- *準備から運営まで、進行役を努める部会長校に過度な負担をかけない運用でよいと思う。
- その結果、永く館長懇話会を継続でき、多くの館長が参加し、西地区部会に加盟している意義を高める機会になれば幸いである。
- *今までどおりで良い。
- *時間の問題があるので、今の運営進行で良いと思う。
- *話しやすい雰囲気です、とても良いと思う。
- *書店の展示(デモンストレーション)と総会及び館長懇話会の時間が同じだったので、懇話会には少し出席しただけに終わった。時間配分を考えてほしい。
- *歴代の図書館長は、外部の図書館との付き合いに積極的でない人が着任している。
- *自由な懇談を基本としつつも、多くの図書館が抱える共通の問題にある程度焦点を絞るとよい。
- *自由討論形式で
- *館長に参加していただくことが難しく、館長懇話会とされているため事務長としては参加していいものか躊躇する。館長レベルでのお話を伺うことも勉強かと思っておりますので、もう少し事務長レベルでも参加できるような、ご配慮を頂けたらと思います。
- *出来るだけ報告事項はなくし、協議事項を中心に議論すべきと思う。いま「なに」が私立大学図書館協会(西地区部会)で重要な課題なのか?等を検討することが必要。
- *既に「学習支援」において、何らかの成果を上げておられる自然科学分野の大学図書館と人文・社会科学分野の大学図書館から口頭報告を、お願いし、これを懇話会のテーマとすることは難しいだろうか。
- *今のままで良い
- *現在の運営(館長だけが出席)で良いと思う。館長が自由に意見を交換し、その中で館長の役割が認識出来れば良い。
- *テーマを2つぐらい決め、事前に考えてきたことを自由な立場と館長としての立場で話す方式
- *一同に会する意味もあるかとは思いますが、大学規模が異なると事情が異なるので、情報交換に重きをおくのであれば、年によってはテーマや規模ごとに会合を分けてもいいのではないかなと思う。
- *本学の館長職は教員であり、授業期間中の本総会に参加することはないため館長懇話会に参加することは無い予定。
- *小規模校の場合、予算や設備等の面で話についていけないことが多い。中国四国地区に所属しているが、こちらの参加を優先させている。
- *もう少し時間がほしかった。
- *フリートーク
- *様々な意見を聞くことができ、大変参考になった。
- *時間が短いので、講演や見学はなくてもいいので、意見交換の時間をもっとしてほしい。
- *実践例の報告を踏まえたグループ討議
- *館長が兼任で非常に忙しく、出席できる状況ではない。
- *距離的な面もありなかなか参加できないが、今後積極的に参加する方向で検討している。